

六予八富名腰東端ニ在リ
大隊長 山本大佐

下達法 要旨口達後印刷交付
配布先 各中隊 IP 凡 (62D 64B 參考)

石九六日命第一五三號

石第三五九六部隊日々命令

十一月十一日 六日 腰

- 一 石第三五九六部隊長 陸軍大佐 山本信輝
- 二 補 中部第三十八部隊長 陸軍少佐 飯塚豊三郎
- 三 補 石第四二八〇部隊副官 陸軍上等兵 加藤通明
- 四 補 石第三五九六部隊長 陸軍上等兵 中西芳文
- 五 本職本上日即日歸隊 豫定ヲ以テ石第四二八〇部隊ニ出張ス

右者死没者(未木曹長)屍体收容、爲本上田ヨリ一泊二日、豫定ヲ以テ沖繩陸軍病院ニ出張シ命ス

石九六會第一三五號

會報

十二月十一日 一六
田名 櫻

一 郵便取扱に就テ、上司ヨリ再三注意セラレアルニシテ、石兵團會報第九二號第二項、如キ失態ヲ起サザル様指導ナリ、且責任者ハ係少事故ニ對シ、絶對責任アリ、本人ハ勿論責任者ニ處罰ヲ受ル場合アルニシテ、充分綿密ナル點檢ヲ實施スルコト

二 松田隊 陸軍曹長 木長重ハ豫テ入院中、處去ル八日、沖繩陸軍病院ニ於テ死ス

十二月十二日

一日の命令

雨火曜

勤勞班に於て張三の別紙石九六日命第一五四號ヲ

富石曜

下達ス

會報

二別紙石九六會第一三六號ヲ下達ス

中張三

部隊長に離任挨拶ヲ為ス。○定免に張田司令
部並に河田司令部に於て張三一八。○級隊ス

勤務員	白直將校	山本少尉
巡警將校	宮田准尉	
日下士官	川口伍長	
日騎衛兵	直野少隊	
討空	伊藤隊	
討海	松島隊	
日直下士官	小林曹長	
現員	入員	山本大佐以下七七名
馬正	日馬	四

石九六日命第一五四號

石第三五九六部隊日々命令

十二月十一日一六〇
富名 腰

第一中隊 陸軍一等兵

第四中隊 同

右者暗號手トシテ當分間通信班勤務ヲ命ス

右者機秘書類交付ニ爲本十二日ヨリ一泊二日ノ豫定ヲ以テ中

頭郡北谷國民學校ニ出張ヲ命ス

各隊(配屬隊ヲ含ム)ハ最小限ノ舍内監視ヲ殘置スルモノトス

編成ハ二小隊トシ銃砲中隊ハ小銃編成トス

十時三十分迄ニ玉城國民學校々庭ニ集合スルモノトス

集合隊形ハ南面ノ中隊縱隊ノ大隊横隊トシ大隊本部通

信作業一、二、三、四、五、VI 初年兵教育隊 TA SAノ順序トス

各隊ノ間隔ハ六歩トス

服装ハ儀式於テ軍装トシテ背囊ヲ除キ略綬佩用トス

余語一久

前田睦男

安垣十俊

- 雨天の際、外套着用スルモノトス
- 直轄小隊ハ式施行中隊ニ復歸スルモノトス
- 來ル十一月十四日十時ヨリ玉城國民學校々庭ニ於テ故陸軍准尉
未木長重以下二柱ノ慰靈祭ヲ執行ス
- 依テ左ノ通り心得ラズ
- 部隊指揮官ハ大森中尉トス
- 各隊ハ各級代表者ヲ第一第四中隊ハ勤務ニ支障ナキ全員參
列スルモノトス
- 但シ配屬隊ヲ除ク
- 隊形ハ祭壇ニ面シ本部通信作業、直轄小隊第一第四中隊
教育隊、各隊代表者ノ順序ニ中隊、縱隊、大隊横隊トシ隊
間ハ六歩トス
- 服装ハ儀式ノ場合ノ軍装トシ略綬佩用トス
- 第四中隊ヨリ儀仗衛兵トシテ下士官、指揮スル十三名(二分隊)
ヲ差出スベシ
- 各中隊ハ喇叭ハ全員口九三口迄ニ式場ニ差出シ部隊指揮官ノ
指示ヲ受ケケンヘシ
- 慰靈祭當日ノ業務分担及式次第ハ石十五日命第一九號第
五項ニ依ルベシ

五 小型機雷受領、爲明十二日即日歸隊ノ豫定ヲ以テ與那原ニ出張
ヲ命ス

陸軍技術軍曹 岡田晴男

十三時迄ニ到ラベシ

(十日日々命令追加)

石九六會第一三六號

會

報

十二月十一日一六
富名腰



- 一 明十三日離任式終了後富名腰ニ於テ部隊長送別ノ會食ヲ實
施ス
- 依テ十二時迄ニ將校全員集合ノコト
- 武藤主計ハ十一時三十分迄ニ會食ヲ準備ノコト
- 二 部隊長山本大佐ハ明十三日十五時出發赴任セラルニツキ
- 同時迄ニ將校全員富名腰東端ニ集合ノコト
- 三 從軍兵役免除脱罪ノ防止徹底ニ關スル件別紙ノ如シ

十二月十三日 一日の命令

雨 水曜

中張二團に別紙石丸六日命第五五號ヲ下達ス

留名 曜

離任 式

石丸六日命第五四號基キ一〇。〇ヨリ山本部隊長

離任式ヲ玉成國民學校ニ延ニ給テ舉行ス

参加人員 五八名

部隊長離任、訓令別紙ニ如シ

會 食

二二。〇分校場ニ於テ將校全員、會食ヲ實施ス

赴 任

山口山本部隊長ニ三。〇車行ニ依リ赴任ス

留 名

張五 香榎中尉以下四名ニ山本大佐赴任後明ニ為一泊一日
ノ豫定ヲ以テ那覇ニ出張ス

勤勞六本日、勤勞員

日直將校 奈良少尉

巡警將校 金山准尉

日下管 寫尾伍長

竹橋衛兵 奈良隊

封聖 伊藤隊

封海 島村隊

日直下士官 中西軍曹

現員七本日、現員

人員三輪大尉以下七名

高正日高 日

石九六日命第一一五五號

石第三五九六部隊日々命令

十二月十三日 富

陸軍中尉 香椎真城

陸軍一等兵長 梨木小之助

陸軍一等兵 西田公平

右者山本大佐赴任援助、為本十三日ヨリ一泊二日、豫定ヲ以テ

三那那霸市ニ出張ヲ命ズ

陸軍兵長 木田英次

右者山本大佐赴任援助、為本十三日ヨリ三泊四日、豫定ヲ以テ

三那那霸市ニ出張ヲ命ズ

陸軍少尉 奈良健

明十四日慰靈祭ノ進行係ヲ命ズ

下士官以上ニ對スル離任ノ辭

昭和十九年十一月十三日

一 感謝

球部隊 彈藥 糧食 發給 不詳 事件ニ對スル 集積所 監視ニ任ジアル
高元少尉以下三名及三輪大尉以下各隊 選拔ニ名ハ 破片 雨
中ノ下沈 著大膽ニ而モ 機宜ニ適シタル 行動ハ一ニ各隊ノ支那
戰場ニ在リシ 行動ニ更ニ訓練ヲ 培養シタル 結果デアツテ 誠ニ感
謝ニ耐ヘナイ

今因内地ニ轉任スルニ方リ 回顧スルニ二年有餘月間 諸士ト共ニ支
那山西ニ山東ニ河北ニ河南ト各地ニ於テ 諸作戦ニ又 沖繩 轉進
ト重大ナル 任務ヲ 課セラレシガ 大過ナク 今日アルヲ 得タルハ 諸士
克ク本職ノ 意圖ヲ 體シ 補翼セル 結果ニシテ 誠ニ 感謝ニ耐ヘ
足

二 満

團結ニ就テ
十五大隊ノ 成ニ就テ

戦地ニ生レ 戦地ニ育ツ 爲 沖繩 本島 轉進後モ 戦場の 氣分ガ 出テ
居ル 様デアルヲ 止ムヲ 得ナイ 然シテ 内地ト 戦場トハ 相違大ニシテ 激言
備マテモ 戦地ハ 小教ナル 人員ヲ 以テ 擴大ナル 地域ヲ 内地ハ 大ナル 人員
ヲ 以テ 小ナル 区ニテ 防護スル 即チ 集團 生活ニ 慣レヌ 故ニ 戦場の 氣
分ヲ 以テ 總テ 當レバ 是ノ 爲ニ 人トシテ 犯ス 原因ナリ 特ニ 注意シナ

カレバチラナイ
此處ニ所謂人ノ和ガ大切ナル人ノ和ガクニテ團結及團體生活ハ出
來ズ又任務ヲ達成スルヲ得ズ人ノ和トハ松竹梅ノ如クシテ人ノ爲メニ
シラズ即チ利己主義ノ絶滅アル諸士大ニ誠心ヲ以テ人ノ和ヲ踐
行セテ以テ温情溢レル功業固ナル團結ヲ固成シ任務ヲ邁進サ
レニホトヲ望ム

三統率ニ就テ

基ヨリ統率ハ上御人ノ至る所ナルモノニシテ我々言ヲ入レザル所ナ
タルモ我々誠心ヲ以テ即チ師團長ノ正直ニ一所懸命ニ奉公スルヲ
要ス

御勅諭ニモ心誠ナラザレバ如何ナル嘉言モ善行モ皆ウベノ節ニテ
何ノ用ニカハ立ッベト申サレテ居ル如ク巧妙ナル辨論合ハ一時役ノモラニ
シテ效果不傳シ

師威ノ及權方ニ就テ

狀況不利ナル場合(師團長ノ訓示中)ハ心氣堅持テ他ノ方法轉換
スルコト緊要ナリ

結言

相互ニ援ヘ合ヒ相信ニ團結ヲ進歩固ニシテ仕分ニ對シ遺憾ナク
充分ニ戦フコトヲ望ム

速射砲、橋本隊重砲、外隊ガ配屬サレ我々大ニ喜ッテ呉レルモ
ト意ヲ強ク思テ居ル次第デアル我々トシテモ充分ノ持前ヲ發揮
スル事ガ出來ル事ヲ心ニ期シ當地ニ着イタト思フタラ他ニ變ル
コト、ナツタ次第デアル諸士モ後任ノ部隊長ノ下ニ於テ正直ニ所懸
命ニマツテ貫ヒタイ私、在任ニテ年有餘月諸士ト生死ヲ共ニシテガ
ラ北支山西省ノ警備ニ又色々ナ作戦ニ又沖繩ノ防衛ニ奉公ヲ共ニシテガ
今回計ラズモ他ノ部隊長ニ補セラレ諸士ト袂ヲ別ツ事ニナツタ次第
デアル私スガ内地ニ歸ルトモロフ事ハ眞ニ惜別ノ情ニ堪ヘナイ不肖
私ニモ不拘マク諸士ハ忠勤ヲ披キンデ部隊ノ榮譽ヲ高メ誠ニ慈
謝ニ堪ヘナイ所デアリ私事トシテモ色々世話ニナツテ感謝ニ堪ヘ
諸士幾ノ腕前ヲ樹ツル事ヲ尚立派ナ勲ヲ樹ツルコトガカウツノハ
眞ニ心殘デアアル
後任ノ部隊長ハ諸士ト深い關係ニアツテ諸子ノ理解アル方デア
事ノ諸士モ眞ニ喜ブベキ次第デアル
別レルニ方リ一言諸士ニ附ケ加ヘテ置タ
新部隊長ノ下ニ常ニ聖旨ヲ休メシテ強固ナル團結ノ下正直ニ一所
懸命ニマツテ貫ライタイソシテ立派ナ勲ヲ樹テラレンコトヲ切望
諸士ト別レテ内地ニ歸ツテモ持ニ私ノ行先ト當隊トハ幾カラ又關係

ニアリ兵員補充ヤ歸還兵ヲ出迎ヒナド、誠ニ深ヒモノデア
 再ニ諸士ト逢エル事ト思フ、思ヒテ常ニ戰場ニ馳セテ常ニ見
 護、日夜武運長久ヲ祈ツテ居ル

新部隊長ノ下忠勤ヲ拔ンデヤレ

特ニ最近ノ行動ニ對シテハ安心ニテ立テル、十月十日ノ空襲ニ際シテノ活
 躍振リ自信アル行動ハ島民モ喜ンデ居ル、又一昨日榴嶺ニ於ケル彈丸
 爆發ノ際、高元少尉以下三十二名ハ兩ト降ル彈丸ノ下部隊荷物ヲ一歩
 モシラス他部隊ノ兵ハ皆退避シタ、拘ラズ頑張り通シ、又三輪大尉以下
 各隊ケ現場ニ急行シ警戒ニ彈藥ヲ搬送ニ本當ニ砲彈爆發烈ノ中敵
 ノ艦砲射撃ノ下テヤッタト変リナイ落付イタ態度デア、又救護
 班ハ下ニ呻吟聲ヲ聞キ下ニ降りテ救助シ支那戰場ニ於ケルト
 同ジニ傷キタル氣持デア、實際上戰傷ニモナラズ死ンデモ戰死ニ
 モナラント言フ取扱状況ヲ知リツ、又自己ノ任務ニ邁進シメ事ハ私モ
 安心ニテ後任ノ部隊長ニ渡セル旅團長閣下ニモ話シ此ノ行動ニ就テハ
 感謝シ安心ニテ別レル事ガ出來ル
 コレヲ以テ別レノ訓示トス

山本 大佐

十一月十四日

一日ノ命令

雨 木曜

定張ニ面シ別紙石丸六日命第一九六號ヲ下達ス

富名 曜

會 報

ニ別紙石丸六會第一三七號ヲ下達ス

慰心 靈祭

ニ一、〇、〇、〇、ヨリ故木曾長以下ニ柱、慰心靈祭ヲ玉城國
 民學校ニ於テ張回長閣下臨席ヲ下盛大舉行ス

飯 隊

飯 隊 四 那霸定張中、梨木兵長以下ニ名一三、〇、〇飯隊ス

石九六會第一三七號

會

報



十二月十四日一六〇〇

- 一 故末木曹長故日比野上等兵、英靈、明十五日出發還送セラレ依テ見送、爲元ノ通リ心得ヲヒシ
- 二 江戸隊松田隊ハ下士官以上全員爾餘ノ本部各隊ハ各級代長者トス
- 三 八時迄ニ富名腰上南側本道上ニ集合スルモノトス
- 四 服装ハ徒手帶劍巻脚絆トシ略綬佩用ス
- 五 當分ノ間各隊ノ休養日ニ於ケル外出ハ禁止シ營内休養トス

十二月十五日	一日々命令 別紙石丸六日命第一五七號ヲ下達ス
雨 金曜	
富 名 曜	
着 任	二 飯塚部隊長ニ一〇〇〇着任スル
新任 式	三 新部隊長ヲ定納ニシタル全好校(配取ヲ含ム)ニ成 國民學校北側校舎ニ於テ挨拶ハ後東側校舎 ニ於テ別紙ヲ行フ
道 骨 運 送	四 別紙別紙ノ如シ
道 骨 運 送	四 故未亦曾長以下ニ送道骨ヲ〇八〇〇還送ス
道 骨 運 送	及 五 杉村上等兵一五〇道及ニ來ル

勤	日直將校	三輪大尉
	日直將校	山池少尉
	日直下士官	道崎曹長
	町橋新兵	渡尾隊
	町野 監視哨	伊野隊
	町海	松島隊
	日直下士官	宮本曹長
頭	員七 本日、現員	
	入員 飯塚少佐以下七員	
	島正 日島	四

石丸六日命第一五七號

一石第三五九六部隊日々命令

計五月十五日一六
富 八本四號

一 部隊長飯塚少佐殿ハ明十五日着任セラル

依而左通り心得マシ

ノ將校(配屬隊將校含ム)本部通信作業直轄小隊ハ

ロロ站ニ王城小學校々門前ニ出迎ヘ爲整列ヲ完了スルモノト

出迎タル後將校ハ北側校舎ニ於テ部隊長ニ對シ挨拶

行フ

二 挨拶終了後東側校舎ニ於テ訓示ヲ行フ

三 服装ハ儀式場合ノ軍装トシ略綬佩用トス

故末木曹長故日比野上等兵ノ遺骨ヲ旅團迄護送

爲左記通り兵カヲ明十五日ロロ七四口迄本部ニ差出シ副官

ノ指示ヲ受ケシムベシ

第一中隊

兵 三

第四中隊

下士官 一 兵 二

服装ハ儀式場合ノ軍装トシ背囊ヲ除キ略綬佩用トス

但シ遺骨ヲ捧持スルモノハ徒手帶劍卷脚絆トス